



医療の質を、第三者機関が評価！  
「病院機能評価」の認定を受けました

当院は、医療の質の改善と発展のため、(財)日本医療機能評価機構が実施する「病院機能評価 (JQHC Ver.1.1)」を受審し、3月4日に認定を受けました。

医療機関が、多様化する地域や患者様の要望に適切に対応するためには、明確な理念の設定、院内組織の整備、医療の質について、常に検証していく必要があります。また自らの位置付けを客観的に知るためにも第三者による評価を受けることが有効となります。

このことから、病院機能評価事業に

おける書面審査および訪問審査を昨年11月に受審しました。その結果、機構の定める認定基準を達成していることが認められ、認定病院となりました。今回の受審により、さらなる発展のためのアドバイスもいただきました。認定に満足することなく今後とも医療の質の向上を図り、皆さんの信頼と期待に応えられる病院を目指して努力していきます。



万一の時間外・救急受診に備え  
「かかりつけ病院」を決めましょう

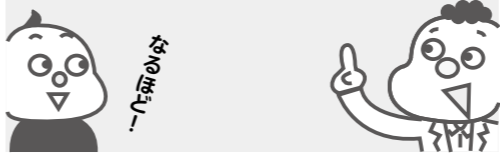
Q1 かかりつけ病院とは？

A1 かかりつけ医と連携した診療も行い、患者さんの身近にあり、時間外・救急受診時にも頼ることのできる病院のことです。

Q2 どうしてかかりつけ病院を決めておかなければいけないの？

A2 患者さんのかかりつけ医からの診療情報や過去の受診記録・データは、時間外・救急受診時に対応する医師の緊急判断を、より確かなものにするのに大いに役立つからです。

当院は、市民の皆さんが安心して暮らせるよう「かかりつけ病院」として診療を行っています。



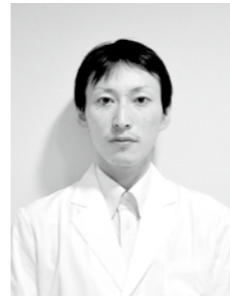
新任医師のご紹介 NEW!!

【整形外科医師】

前任の三宅孝宏医師が、(財)田附興風会医学研究所北野病院へ異動され、4月から後任として着任されました。

専門分野 整形外科全般  
経歴 奈良県立医科大学医学部を卒業後、京都大学整形外科(研修医)を経て、兵庫県立尼崎総合医療センターで医師として勤務、現在に至る。

中川 正秀

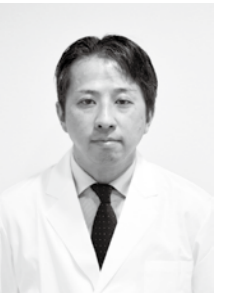


【外科医師 (外科部長)】

前任の森友彦外科部長が京都市立病院へ異動され、4月から新たに外科部長として着任されました。

専門分野 消化管外科  
(特に胃がん・大腸がん)  
経歴 京都大学医学研究科大学院を卒業後、3年間のアメリカ留学を経て杉田玄白記念公立小浜病院、京都市立病院で外科医長を歴任し現在に至る。

伊藤 鉄夫



従来の外科手術はもちろんですが、体に負担が少ない内視鏡手術も得意としています。患者さんが地元で安心して治療が受けられるようサポートいたします。

急性期の骨折や、変形性股関節症・腰椎症といった慢性疾患まで、手術を含め広く対応していきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

すてきな作品をお待ちしています！

郵便またはEメールで、投稿者氏名・住所・電話番号を書き添えて投稿してください。作品は未発表のもので、応募は一人1点とし、作品や氏名には必ずふりがなをお願いします。なお、Eメールで投稿する場合は、漢字の直後に( )書きで読みがなを記入してください。

★市民の方が対象です。応募数が多い場合は選考をさせていただきます。

▼投稿先

郵便→ 〒520-1592 高島市新旭町北畑565番地  
高島市秘書広報課あて  
メール→ hishokoho@city.takashima.lg.jp

▼次回締切 6月27日(月)必着 / 8月号 ▼掲載月

みんなて 575



卓の上 土産の土筆 こぼれをり  
初曾孫 未ず夫の分もと抱きしめ  
記念写真 その風景の音がする  
希望みた 野党共闘 ニュージャパン  
何になる 人をまきこみ 自爆する  
雨雲や 玉葱引きを 急ぐ友  
認知症 脳のリハビリ 800字  
居酒屋で 昔し話したに カンパライ  
カメ虫が 我が家訪問 カネ虫こらい  
活気ある 笑顔ひろがる 道の駅  
青汁を 飲んで気休め にもなりし  
我息子 叙勲披露 招かれて  
老いの日々 介護疲れで 夢の旅  
今年、また 元気を貰う 春一番  
和紙作り 初体験に 感動し  
日暮れて 道遠しかな 極楽浄土  
友逝くや 新聞一行 春嵐  
皴の手は 日々の苦勞か 恋い女房  
若鮎の ひかり跳び舞う 上り染  
植込みに 山雀鳴いて 見え隠れ  
畦走る 田掻きの母を 稚児待ちて  
繰り返す 三寒四温 春未?  
写真捨て すべて心の アルバムに  
枝に咲き 落ちて地面に 咲くつばき  
梅雨空に ほのかに漂う 夏景色  
同窓会 三人寄れば 孫自まん  
大掃除 ショパン「小犬」を 伴って  
ピラデスト つなげてみたい 栗園に  
北南 新幹線で つながった  
一年後 嫌な増税 まいったな  
入梅や 紫陽花ひとり 微笑みぬ  
野も山も 緑色増す 初夏の朝  
桜愛で 次は藤かな 紫陽花か  
春やでと ツクシ顔出し 笑っている  
カキツバタ 平地水面に 咲乱れる  
春を追い ウグイス鳴き音の 進歩かな  
水無月に 想い出すは 今亡き父母  
他人ごとと 思えぬニュース 明日は我  
子供の日子 等の声せず 耳朶のみに

伊庭 健博 新・深溝  
川端 昭子 マ・高木浜  
丸岡亜希子 新・葦園  
久保 俊明 高・拜戸  
池田よし枝 今・今津  
白井やよい(高・宮野)  
北川 しげ(安・西万木)  
北川美佐子(安・西万木)  
頃常 芳子 今・今津  
林 吉輝 新・深溝  
河原田 勝 今・岸脇  
曾根ケイ子 新・響庭  
松田 節子 新・新庄  
平井 ちく(朽木・大野)  
山本 忍 高・高島  
駒井 重雄 安・北船木  
提中 幸子(新・針江)  
駒井 堅次 安・北船木  
吉川 明 安・北船木  
宇井 増男 高・武曾横山  
北川 国重 安・青柳  
山本 京子 高・高島  
中河 仁子 今・今津  
村田 ナミ(高・勝野)  
久米 良彦 新・太田  
伊吹 忠義 マ・中庄  
大久保絹子 マ・西浜  
小谷 忠雄 マ・西浜  
穴井 義夫 今・梅原  
穴井田香里 今・梅原  
山本喜代治 安・長尾  
進士 良治 新・太田  
青谷 裕子 今・南新保  
奥津とし江 安・川島  
伊丹 孝子 高・勝野  
山本美智子 マ・新保  
寺田 義輝 マ・西浜  
高岡ふじ江 マ・小荒路  
北坂 修 高・武曾横山

日赤の 駅の座布団 客守り  
ランドセル 背おいてはにかむ 孫の顔  
帰りましょう。 きれいな夕日 燃えている  
春うらら 優しい言葉 身にしみる  
健食 宣伝よりは 効きません  
守りびとの 労をねぎらう 花筏  
魔校に しづかに咲し 桜かな  
ゴム紐を 張りつめたごと 初夏の風  
康介氏 戦い終んで 晴ればれと  
7回も カメラを飲んで 胃が痛い  
五月雨に レイン・ダンスが きこえるかな  
若葉萌ゆ 峰に桜の 色映えて  
先祖様 彼岸のお墓に 大集合  
3時4時 昔は起きた 田植時  
カイツブリ 浮いて沈んで たのしそう  
同窓会(女子会) 雄琴のお湯で べっぴんさん  
野点時 桜一ひら 腕の中  
紫陽花に やさしき雫 雨の庭  
咲き満ちし 永久の輝き 桜花  
口で捜し 目で捜さない 老夫婦  
春浅し 孫の入園 待たれる日  
桜咲く 陽気良くなる 春がすみ  
桜守り いての海洋の 艶ざくら  
朝もやの 新緑映える 三井寺や  
葱坊主 並んで風と 光うけ  
経聞きつ、石段200 勝尾寺  
雑草の 小花にいやされつ 引っこぬき  
母の日に 畑に届く 宅配便  
雨音の リズム軽やか 春寝床  
風光る 野に山田畑 湖辺にも  
おばあちゃん トロロと違う トロロやで  
シベリアに 恨み残して 兄は逝き  
駒一つ 夫と争う 堀こたつ  
桜散る 菜の花散りて 夏は来ぬ  
梅雨はしり 参道あし早や おしどり傘  
平穏な 近江に住まう ありがたさ  
はや卒業 月日の流れ 振り返り  
新緑の メタセコイヤは Love road  
入院し 息子頼りに なるを知り

今井紀美子 今・今津  
添田富美子 安・常磐木  
早田 弘子 今・今津  
岡田 芳子 マ・沢  
梅村 保次 安・四津川  
上原 秀雄 新・深溝  
益本さつき マ・沢  
松本せつ子 マ・海津  
金村 玉子 マ・蛭口  
田谷多見雄 安・南古賀  
高野 龍哉 高・野田  
高橋レイ子 高・鴨川平  
渡辺 幸江 新・深溝  
西川五穂三 高・高島  
田中せつ子 高・勝野  
上原すみ江 新・太田  
小和田富枝 新・旭  
墨友 光代 今・上弘部  
木津 みね 高・拜戸  
森本 幸枝 今・梅原  
山本 幸枝 今・梅原  
山本美智子 朽・麻生  
清水 茂 今・深清水  
高澤 芳枝 今・松陽台  
本城 和枝 新・太田  
日浅 優子 新・太田  
野田 敏子 新・旭  
霜降 里子 新・葦園  
斎藤 光江 安・今在家  
宮本正太郎 今・上弘部  
坂口その江 マ・知内  
八木 宏 高・鴨  
西 晴明 高・鴨川平  
西 美津子 高・鴨川平  
和田阿也子 新・旭  
河野弥寿男 高・鶴川  
川尻 耕生 今・松陽台  
粟津 満子 マ・山中  
井保 孝夫 安・西万木  
中内 保男 新・針江